

デジタル化の潮流の中で —ハーバード・イェンチン図書館の場合—



日時
2010 年 6 月 24 日(木) 18:00-19:30

場所
立命館大学 アート・リサーチセンター 多目的ルーム

講師
マクヴェイ・山田・久仁子 (ハーバード燕京図書館 Librarian for Japanese Collection)

ハーバード燕京図書館（イェンチン・ライブラリー）の日本語書籍コレクションは、1914 年の姉崎正治、服部宇之吉両教授の寄贈図書から始まる。現在、蔵書数 30 万冊を超え、米国内において、米国議会図書館、カリフォルニア大学バークレー校図書館に次ぐ規模を有している。また日本の貴重書コレクション（Rare Books Collection）のなかには、江戸期の版本を中心に約 3900 タイトル 1 万 5000 冊と、約 500 本の軸・巻物がある（2008 年 6 月現在）。こうしたコレクションの全蔵書は、ハーバード大学図書館のオンライン目録（Hollis）から検索が可能である。本講演では、燕京図書館日本語書籍コレクションの図書館員（Librarian for Japanese Collection）であるマクヴェイ・山田・久仁子氏を迎え、蔵書紹介、燕京図書館におけるデジタル技術の役割、海外での日本文化研究の現状をテーマにお話いただく。

講師プロフィール

1980 年に国際基督教大学卒業後、東京駒場の日本近代文学館に 7 年勤務。1987 年渡米、ボストンで 2 年間の製本プログラム履修。1989 年から 10 年ハーバード大学ライシャワー日本研究所付属「現代日本研究資料センター」の運営責任者を勤める。1995 年ボストンのシモンズカレッジより、図書館情報学修士取得。1999 年より現職。昨年 9 月より、ハーバードの文理学院東アジア地域研究の修士課程入学、職務の傍ら日本の中世史を勉強中。